

根津和博に、あなたのやって欲しいを直接伝えよう！

まちづくりも、みんなでやるじゃん！市民の皆さまのご意見、ご要望をお待ちしております。

- ご相談** 困っていること、悩んでいること、どんなことでも構いません。根津和博になんでもご相談ください。
- ご提案** 山梨市をさらに良くするためのアイデアやご意見、こうしたらいいなど、根津和博になんでもご提案ください。
- ご紹介** 山梨市を良くするために様々な知識や経験をもった方など、一緒にまちづくりしていただける方をご紹介ください。

電話 FAX メール

事務所

アンケートフォーム

下記連絡先より、お電話、FAX、eメールどれでもお好みの方法でお気軽にお問合せください。

山梨市駅前に事務所を設置しております。直接お越しいただき、投函箱またはスタッフにご意見をお寄せください。

HPにアンケートフォームを掲載しております。PC、スマホなどお気軽に入力ください。上記QRコードからアクセスいただけます。



発行 ▶ 根津和博と山梨市を「大好きなまち」にする会

〒405-0018 山梨県山梨市正徳寺508-1
 TEL 0553-88-9515 FAX 0553-88-9586
 Mail daisukiyamanashi@gmail.com HP <https://nezukazuhiro.com/>



根津和博ってどんな人？
 1977年生まれ 43才。
 高校で出会った妻と大恋愛の末、結婚し、現在は妻と3人の子供たちと暮らしています。
 山梨市が大好きで、まちづくり活動で山梨市の魅力を発信したり、人と人をつなぐ活動をずっと行ってきました。
 先が見えない時代だと言われていますが、山梨市の未来は明るいと私は信じています。「みんなでやるじゃん！」を合言葉に、一緒に未来の山梨市を創りましょう！

月刊根津レポート Monthly Title vol.2 2021年8月上旬発行

「和をもって尊しとなす」
 資本主義社会がもたらした「個」の成長もそろそろ昔に戻すべき時が来ている気がします。元々、日本人は一人の成功ではなく、みんなが良くなる調和や融和の精神をもち、誰かのために進んで助け合いができる民族でした。家族や集落、結いや講、助といったボランティアが当たり前のようにありました。現代では競争社会や比較のなかで、人よりも勝りたい意識が先行し、無関心な世になっています。まちは人の行き交う所から車が行き交う世になり、コミュニケーションも体験や言葉を交わすことからメール媒体になっています…。生きる力とも言えるべき人間力を、衣食住をしっかりと見つめ直すことが必要だと考えます。保存する知恵は冷蔵庫に、記憶する力はメモリーカードへ、地

下資源に依存したエネルギー、数えれば切りがありません。足元には豊かな自然、その風土がもたらしたひとがたくさんいます。一人ではできないこともみんなで楽しくまちづくりを行いませんか？誇れるまちを次世代にバトンタッチするためにも無関心を関心に変える取り組みが必要です。
 私も「大好きなまち」づくりを始めました♪まだまだ小さな歩みですがいずれ地域を変えるような歩みになればと願うばかりです。人生は出会いです♪私をまちづくりに誘った同士のようにならば幸いです♪キャッチフレーズは「みんなでやるじゃん」共に誇れる郷土を次世代につなげて参りましょう
 山梨市議会議員 根津和博

4年間、眠ってしまった山梨市

1. 4年間止まった跡地有効活用への新しい風

- ・旧山梨市役所跡地の活用
- ・山梨市有林（牧丘ゴルフ場計画地）の活用
- ・カーボン跡地および根津橋東詰跡地の活用



- ・地域産業担い手育成と支援策の充実
- ・景気に左右されない成長産業の創出
- ・中小企業のブランド化と販路開拓支援
- ・商店街の賑わい創出
- ・山岳観光、秩父多摩甲斐国立公園の整備と発信
- ・果樹を核とした観光推進
- ・山梨市ワイナリーと果樹ブランドのコラボ
- ・コロナ脱出後の観光業の方向性
- ・サイクリストが集うコースの設定
- ・三富地域の遊歩道の整備
- ・観光専門人材を雇用し、広域 DMO の立ち上げ
- ・市内文化財の発信
- ・ワイン特区を活かした新たな助成金の創設
- ・農業の担い手確保、農地集積
- ・中心市街地、駅南活性化
- ・水資源の積極的活用



2. 女性と子育て教育環境への新しい風

- ・女性、若者会議の開催
- ・子ども議会による主権者教育推進
- ・女性が働きやすく、男性が子育てしやすい環境づくり
- ・ひとり親家庭の支援対策の充実
- ・小中学校の給食費の完全無償化
- ・不登校児童生徒への教育に対する選択肢の提示
- ・学級崩壊を止める努力
- ・子育て支援の拡充
- ・生産者とのマッチングによる子ども食堂の活動支援
- ・愛郷心を育む教育の推進
- ・多様性を認める教育の推進
- ・児童生徒目線の学校統廃合議論の開始



3. 医療福祉への新しい風

- ・医療体制のさらなる充実
- ・子ども医療費助成制度拡充
- ・障害者雇用の積極的な推進
- ・在宅介護を支える基盤強化
- ・認知症の方々への尊厳を守る
- ・運動と定期健診の促進による健康寿命の延伸



4. 地域産業への新しい風

- ・遊休農地 370ha 活用
- ・生産地知名度アップ再挑戦
- ・JA と農産物トップセールスの再開
- ・スマート農業の推進
- ・農産物高付加価値化と販路拡大
- ・若手農業従事者育成
- ・シルバー世代の農業従事
- ・ふるさと納税への個人生産者参加
- ・戦略作物に係る新規就農者の為の圃場整備支援
- ・農産物を高付加価値化する加工場の設置
- ・年末年始商戦のシャイン等販売のための貯蔵庫設置
- ・林業の促進と水質保全



5. インフラ整備への新しい風

- ・既存インフラの長寿命化
- ・産業振興や防災対策と連携したインフラ整備
- ・中央自動車道との直結道路整備
- ・県道塩平窪平線早期改良
- ・岩手橋架け替えの早期実施
- ・落合正徳寺線と西関東連絡道路万力ランプの連結
- ・サイクリングロードの整備
- ・トップセールスで企業誘致、サテライトオフィスの誘致を実現
- ・南反保地域の早期整備
- ・東山梨駅跨線橋設置にともなう駅周辺整備の早期実施
- ・日川橋の架け替え工事の早期実施
- ・豪雨災害に備えた水路整備と治水事業の実施
- ・乙女湖周辺の整備



6. 市民生活への新しい風

- ・自助、共助、公助による実質的な防災対策の確立
- ・市内各区より要望の道路、水路等の市単独事業推進
- ・農地取得の面積制約緩和による家庭菜園付き住宅の実現
- ・市民バスの運営効率化とサービス拡充の両輪を果たす
- ・中央線快速電車甲府乗入を JR 東日本へ要望
- ・交流できるふれあいサロンの創設
- ・次世代を担う子供たちのための全市通学路の見直し

今、山梨市に必要な施策

- ・民間企業と連携、IoT 技術活用の健康チェック実証実験
- ・新型コロナウイルス対策強化
- ・高齢者を対象とした防災スマホ教室の開催
- ・山梨市暮らしメンター制度の創設
- ・地元住民と移住者との交流
- ・ひきこもりや介護に対応するソーシャルワーカーの配置
- ・街灯・防犯灯設置の徹底
- ・手話言語条約の制定
- ・防災行政無線アプリ導入
- ・迷惑空き家対策
- ・鳥獣害対策
- ・限界集落対策



7. 行政への新しい風

- ・縦割り行政からの脱却
- ・市職員の持つ能力を最大限に活用
- ・50 の民間協働事業にチャレンジ
- ・オープンイノベーションラボ（民間職員市民提案集約）立上
- ・稼ぐ市役所への変革
- ・新規財源確保の実施
- ・市役所のデジタル化、オンライン申請手続き拡充
- ・民間からの「副業人材」の活用
- ・中堅職員を中心とした他市町村や民間企業等との人事交流
- ・公務員の副業制度の新設
- ・施策の達成時期の明確化
- ・多様な山梨市へパートナーシップ制度の導入
- ・消防団の処遇改善と OB 団員体制強化
- ・エビデンスに基づく行財政運営
- ・議員定数と報酬見直し



8. コロナ後の山梨市への新しい風

- ・エネルギー地産地消への挑戦
- ・暮らしやすさ日本一への挑戦
- ・全天候対応型山梨市ドーム計画



次回発行 Vol.3(8月下旬予定)にて
詳細プラン提言します。